

課題名：ライフスタイル多様性に対応した個別化健康支援アプリによる糖尿病予防の実用化に向けた研究開発

代表機関／代表者：株式会社おいしい健康／野尻 哲也

分担機関：京都府立医科大学

研究期間：令和6年8月～令和7年3月

研究開発目的

- 我が国では40歳～74歳を対象として、特定健診・保健指導を通じた健康増進が保険者によって広く実施されている。他方、糖尿病など疾患予防という観点からは、定期的な観察に止まることなく、食習慣見直しや運動など早期の予防介入が肝要である。しかしながら特定保健指導の実施率は該当者の24.6%と、厚労省目標45%に遠く及ばない。
- そこで本研究班では健診受診者（特に保健指導を受けない層）を対象に、インセンティブを伴う健康増進機能を実装したスマートフォンアプリケーションを配布し、糖尿病予防のための生活改善、ならびにその実用化に関する有用性を検証する。

取り組み

- 保険者向け実用化を想定したヘルスケアアプリの機能開発
- 健診施設におけるアプリ配布、導入支援体制の整備
- 生活習慣病リスク層に対するアプリ導入の効果検証
- 保険者向けインタビューを通じた市場分析

期待される成果

- エビデンスを有する個別化健康支援アプリを活用した予防・健康づくり推進、保険者機能の強化、産業創出（海外へのソリューション展開）
- 健診～生活指導～治療・重症化予防までシームレスなデータヘルスプラットフォームを通じたアウトカムの最大化、医療費抑制、健保財政への寄与
- 安価かつ人手のかからない仕組みによる、ポピュレーションアプローチの実現

個別化健康支援アプリ

- 利用者のライフスタイルに適した生活改善、減量プログラムを提案
- 健診受診後に医療スタッフを通じて導入（保健指導なし/あり）
- 利用状況やアウトカムに応じたインセンティブ



実用化イメージ

- 保険者向け保健指導DXソリューションとして、特定保健指導・重症化予防・その他健康増進支援やデータ解析サービスを提供する

